





豪州 -金融緩和姿勢は強化されず-

<政策金利を1.50%で据え置き>

6月6日、オーストラリア準備銀行(以下、RBA)は 政策理事会を開催し、政策金利を1.50%で据え置く ことを決定しました。

声明文では、オーストラリアの経済成長率が緩やかに拡大していくという見通しが示され、資源ブーム終焉による設備投資減少の最悪期がほぼ終わったことが指摘されました。他方、労働市場に関する指標は強弱まちまちで、賃金の伸びが低く、低インフレがしばらく続くという見通しが示されました。

く豪ドルの推移>

5月の豪ドルは軟調に推移しました。市場の予想を下回った国内外の経済指標、米政権の先行き不透明感やRBAが金融緩和姿勢を強めるとの見方が広がったことなどが背景です。

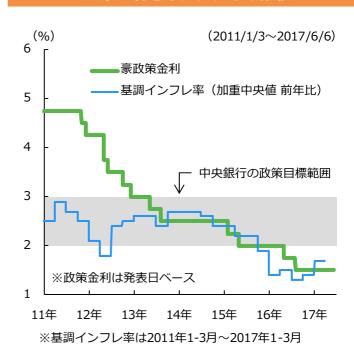
政策金利が据え置かれたことや声明文で金融緩和姿勢を強めることを示唆する文言が盛り込まれなかったことから、豪ドルは上昇しています。東京時間午後2時半現在、1豪ドル=0.7494米ドル、1豪ドル=82.26円となっています。

<今後の見通し>

RBAの声明文に金融緩和姿勢を強化する文言が盛り 込まれなかったため、しばらく政策金利は据え置か れるものと思われます。

また、7日に発表されるオーストラリアの1-3月 GDPは下振れることが予想されていますが、低金利 政策が景気を下支えし、中長期的にはオーストラリ アの経済成長率は緩やかに上昇していくことが予想 されます。オーストラリア経済の中長期的な拡大は 豪ドルの支援材料となることが予想されます。

<政策金利とインフレ率の推移>



く豪ドルの推移>



出所: Bloomberg

[■]当資料は情報提供を目的として大和住銀投信投資顧問が作成したものであり、特定の投資信託・生命保険・株式・債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。 ■当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料に記載されている今後の見通 し・コメントは、作成日現在のものであり、事前の予告なしに将来変更される場合があります。■当資料内の運用実績等に関するグラフ、数値等は過去のものであり、将来 の運用成果等を約束するものではありません。■当資料内のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。